

今月の
症例

ホームページ掲載版では、症例提示を非公開としています。



Osaka Medical College
Cardiology

- 大阪医科大学附属病院 循環器内科ではお困りの症例の電話による相談窓口を開設させていただいております。

当院のスタッフ(循環器専門医)が、緊急症例の受け入れに限らず、外来受診の予約など幅広く対応させていただきますのでご利用ください。

24時間対応させていただきます

TOPICS

下肢閉塞性動脈硬化症に対する カテーテル治療で使用できるデバイスが増えました

下肢閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル治療の問題点として、再狭窄があります。

特に浅大腿動脈領域では30%程度の再狭窄を認めます。

従来、カテーテル治療ではバルーンおよび金属ステントのみによる治療しかありませんでしたが、近年、新しく使用できるデバイスが増えました。

2016年よりステントグラフト(人工血管)

2017年より薬剤コーティングバルーン

2018年より薬剤溶出性ステント

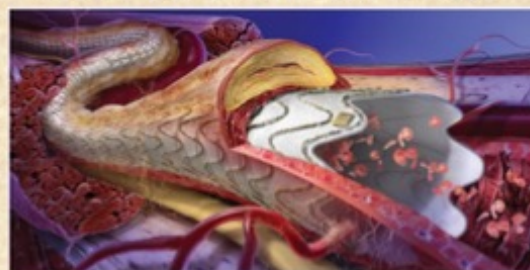
が承認され当院でも使用しています。

病変部位や病変性状によって使い分けをして再狭窄を軽減し、長期開存を目指しております。

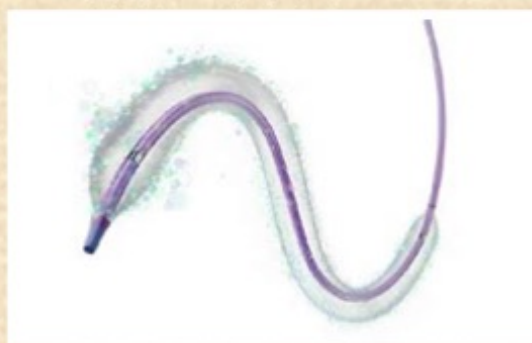
跛行症状でお困りの患者さんがおられましたら当科までご紹介ください。

また、症状より下肢閉塞性動脈硬化症が疑われる患者さんがおられましたらABIも施行させていただきますので、お気軽にご紹介ください。

ステントグラフト (人工血管)



薬剤コーティングバルーン



薬剤溶出性ステント



後記

平素より、ホットラインを含め皆様から多数のご紹介をいただき、誠にありがとうございます。先月まではCOVID-19 (疑い) 症例の対応などにより、救急症例の受け入れを中止せざるを得ない場合もあり、ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。6月に入り、徐々に通常診療に戻っております。引き続き皆様のお役にたてるよう、当科スタッフ一同尽力して患者さんの受け入れ体制の維持に努めて参りますので、お気軽にご連絡ください。

the editor's notes

**冠動脈CT専門外来
FAX予約受付中**

お問い合わせ先
医療連携室: TEL 072-684-6338